

参加者の皆様へ

1. 主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません
2. 途中、気分が悪くなった場合は早めに役員へお知らせ下さい。
3. 木の根や木道の段差に注意して下さい。
4. 時間のつごうでコースを変更することもあります。

緊急時連絡先

石川 忠 090-7854-5431
塩川 守 090-7674-7213



日光杉並木と戦場ヶ原一泊ウォーク

1日目 2016.06.26 9~11km

1日目スケジュール

富士宮== 談合坂SA== 佐野SA== 土沢IC == 七本桜交差点
6:00 7:25~40 9:05~9:15 9:55 10:05

ウォーク
七本桜スタート……道の駅日光……杉並木公園……日光だいや川公園(昼食) =バス= 赤沼車庫
10:10 10:35~50 11:50~12:30 13:20~40

赤沼車庫 …… 展望台 …… 湯滝下 …… 湯滝上 =バス= 宿(湯守釜屋)
13:40 14:10~20 15:10~25 15:40 15:45

※湯滝下にて時間が早い時は湯ノ湖畔を歩いて宿へ向かう時もあります(2km40分)

2. 戦場ヶ原(赤沼車庫→湯ノ湖)ウォーク 赤沼車庫をスタート、交通量の多い R120 を横断して戦場ヶ原のウォーキングコースに入っていきます。間もなく案内板のある分岐点に着き湯滝方面に向かいます。道は木道で歩き易いのですが等間隔に滑り止め用の桟があり、歩幅と合わないので注意して歩いた方がいいでしょう。

小滝を過ぎて600m程進むと、少しずつ滝の音が近づいてきます。足元ばかり気にして歩いていた木道が終わると、豪快で迫力満点の湯滝が眼前に迫ってきます。湯の湖からの水が高さ70mの岩肌をつたい飛沫を上げて落ちる様に圧倒されます。湯滝で少しリフレッシュしてもうひと踏ん張り、湯滝の右手側にあるつづら折りの急な坂道を上っていくと視界が開け湯ノ湖に到着です。ここで30分ほど早く到着した時は湯ノ湖西岸も歩き宿へ向かいます。

俳句をつくろう

一人1、2点を宴会時または翌朝担当者に提出して下さい。
表彰は後日行い広報「みちるべ」で発表します。



1. 杉並木ウォーク 七本桜交差点からウォーク開始です。日光杉並木街道は東照宮造営に由来し、寛永2年(1625年)ごろから20年以上の歳月をかけて約20万本の杉が植えられました。総延長37kmもあり、今回はそのごく一部を歩きます。すぐ横を国道が走っているにもかかわらず、一段高い土塁と杉に囲まれた街道は往時の姿そのままに旅人の風情を楽しむことができます。杉の大木には市の名前などが書かれた銘板が貼られたものが散見されます。これはオーナー制度といって、1本1千万円で木のオーナーになってもらい、その資金を栃木県が運用し、弱った杉の樹勢回復事業等を実施するというものです。道の駅日光(WC休憩)あたりで一旦杉並木は途切れますが、またすぐに杉並木街道になります。街道をしばらく歩いて、東武日光線のガードをくぐると日光だいや川公園で、ここで昼食になります。広大な公園で、レストランもありますので利用するのもよいでしょう。

宿泊先「湯守釜屋」 輪王寺より「湯守」の任を受け240余年。日光の大自然と人が融合した街、奥日光湯元温泉の中央に「湯守釜屋」は位置します。明治元年に湯宿として開業し、以来140年湯元のお湯を楽しむ皆様をお迎えしております。乳白色の湯を掛流しで、本物の温泉を心ゆくまでお楽しみ下さい。
[泉質] 硫黄泉 硫黄塩泉
[効能] 関節痛 神経痛 腰痛

宴会は 2階「寿雲」で18時からです。
朝食は 2階「白根」7時~(バイキング 適宜)、出発は8:15です